

# 特定家畜伝染病発生状況

## 【豚熱】(CSF、豚・いのししに感染)

H30以降、国内で57事例(97農場、4と畜場、約16万頭)の発生があり、ワクチン接種等を実施していますが、長期間の清浄化対策が必要です。また、疫学調査の結果、東アジアから日本へCSFウイルスが侵入したことが指摘されています。

## 【アフリカ豚熱】(ASF、豚・いのししに感染)

H30に中国に侵入し、翌年には、モンゴル、ベトナム、香港、韓国、フィリピン等へまん延しており、中国では4月にも発生しています。海外から持ち込まれた豚肉製品から、ASFウイルスの遺伝子検出事例が88例(R2.2.21時点)確認されています。

## 【口蹄疫】(牛・豚等の偶蹄類に感染)

H22以降、国内発生はありませんが、東アジアやロシアでは発生が続いており、中国では、昨年12月にも発生しています。

## 【高病原性鳥インフルエンザ】(HPAI、家きんに感染)

H30以降、国内発生はありませんが、今年1～2月に中国の家きん農場で発生しています。また、昨年11～12月には国内の野鳥から低病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されています。

### ～ 病原体を持ち込まない、広げないために ～

- ・海外の発生地域への渡航を自粛
- ・消毒を徹底し、人、車両による病原体の持込み、持出しを防止
- ・柵、ネットを設置し、野生動物による病原体の持込みを防止
- ・海外肉製品の農場への持込みや公園等への放置を禁止

**異常家畜の早期発見、早期通報をお願いします。**

**北海道空知家畜保健衛生所 電話 0126-22-4212**

（ゴールデンウィーク等の閉庁日や時間外は、  
空知総合振興局(代表) 0126-20-0200